

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 19 日

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 予算科目, 事業区分, 担当, 所属課, 事業期間. Includes details for '羽黒・稲田石材スラッジ処理協同組合助成事業' and '商工業の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes '羽黒・稲田スラッジ処理協同組合への運営費補助金の支出'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for '助成金交付事務' and 'スラッジ処理運搬台数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs and personnel costs from 27 to 31 years. Includes '国庫支出金', '事業費計(A)', '人件費計(B)', and 'トータルコスト(A)+(B)'.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of business costs) comparing 28年度実績 (2016 actual) and 29年度事業費予算 (2017 budget) for '19 負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for '当該年度の実施内容' (Implementation content of the current year) with columns for 29年度, 30年度, and 31年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	羽黒・稲田石材スラッジ処理協同組合助成事業	事務事業No.	50203000545	所属課	商工観光課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
羽黒・稲田石材スラッジ処理協同組合は地域産業全体で公害発生の防止と生活環境の保全に努めるため、昭和59年設立された。安価な外国産石材の流入により国内加工が激減し、施設利用者が減少したため、運営が厳しくなった。平成19年度から運営が困難なため、笠間市と桜川市で補助金を支出することになったが、昨年度、笠間市から補助を中止したいとの動きがある。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
処分料等の自主財源によって運営費を賄えるようにするべきではないかという意見がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	組合の意義を知ってもらい、より多くの事業者に参加してもらわなければならないが、なかなか加入者が増えていない。最終処分場の確保に苦慮していたが、現在はめどが立っている。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 本来は受益者負担が原則であるが、組合員の減少により運営が厳しくなってきた。処理費の一部を助成することにより経営の安定化を図り、石材産業を持続させる必要がある。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 基幹産業である石材産業の支援と環境の保全を行う。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 組合員の減少により現状維持も困難になりつつある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 適正なスラッジ処理ができなくなり環境悪化が懸念される。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特に無し
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 組合員の減少によりスラッジ処理費用の負担が大きくなり、削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 石材業者が加入できる組合への助成であり公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	本来、受益者負担が原則であるが、石材業者にとってはスラッジ処理費用の捻出も厳しい状況化にあり、行政の支援が必要となっている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
組合の加入者や処理件数の増により、組合の経営を安定させることが課題である。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>